

観光社会資本の事例

テーマ	にぎわいを求めて人が集まる交流拠点「吉備高原都市」
【施設の状況写真】	
	
<p>吉備高原都市は人間尊重、福祉優先の新しい都市として建設中です。少年自然の家やニューサイエンス館といった家族連れで楽しめる施設がたくさんあります。</p>	<p>この写真はセンター区の吉備中央公園で、人々の憩いの場として利用されています。都市全体が自然にあふれ、広々とした空間が広がっています。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>さんさん広場で行われる数々のイベントは毎回多くの人でにぎわいます。</p>	<p>毎月第3日曜日に行われる森の市には、県内外から食の物産市やフリーマーケットが出店します。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>吉備高原都市は、県によって21世紀を志向した未来型の都市として、約30年の長い年月をかけて建設中です。計画総面積は1900haにも及びます。人にやさしい都市を目指す中、県南圏域を中心に県内外からの観光スポットとなり、年間20万人が訪れるようになりました。</p>	

テーマ	にぎわいを求めて人が集まる交流拠点「吉備高原都市」
【社会資本の基礎データ】 名称 吉備高原都市 所在地 <small>あかやまけんかがくんきびちゅうおうちよう</small> 岡山県加賀郡吉備中央町 事業主体 岡山県 事業期間 昭和50年～	
【社会資本の役割・効果】 役割 吉備高原都市は、岡山県のほぼ中央部に位置し、岡山自動車道、国道484号がクロスしています。また、岡山空港にも近く、陸空の交通条件に恵まれています。アクセスの良さから中国地域をエリアとする大きな施設が建設されています。 効果 既存住民と都市内移住者や吉備高原の自然環境を求めて来町した人々とのふれあいを目的に数々のイベントが都市内で行われてきました。現在では岡山吉備高原車いすロードレース大会等の大規模なスポーツイベントも行われるようになりました。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 吉備高原都市の紹介 http://www.kibicity.ne.jp/index.html	